



## アドビ、ビジネスパーソンのテレワークスキルに関する調査結果を発表 電子契約・電子署名・スキャンツールを活用できている人ほど生産性の向上を実感 40代以降の4人に1人が「困ったときに相談する人がいない」と世代間ギャップも

【2020年4月13日】

アドビ システムズ 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：ジェームズ マクリディ）は、新型コロナウイルスの影響により初めてテレワークに取り組んだビジネスパーソンに対し、テレワークのスキルについて聞いた調査結果を発表しました。調査は、都内に勤務し、過去1ヶ月以内に初めてテレワーク勤務を経験した20～69歳までのビジネスパーソン男女計800名を対象にインターネットで行いました。

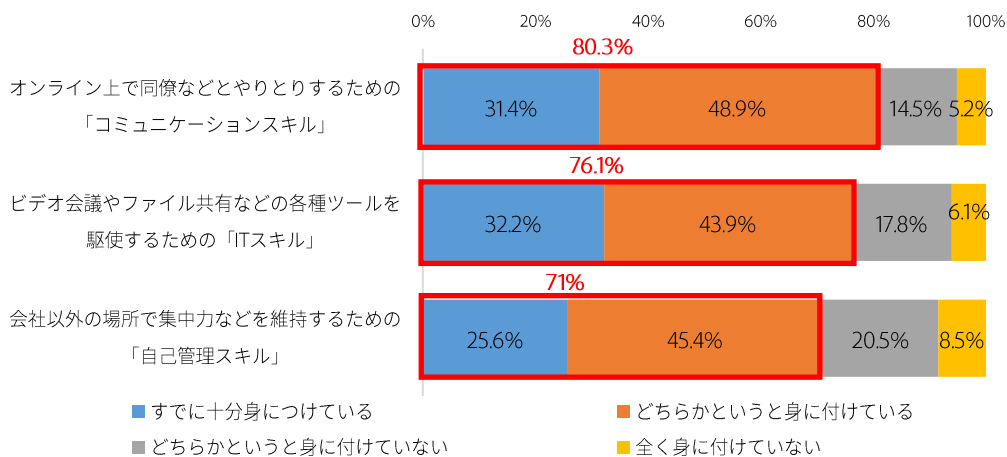
今回の調査で明らかになった主な結果は以下の通りです。

- 76.1%がビデオ会議などITツールを駆使するための「ITスキル」を保有していると回答。
- 電子契約・電子署名・スキャンツールの活用者ほど、テレワークによる生産性向上を実感。
- 21%の人が「テレワーク時のITツールの使い方を気軽に相談できる人が社内にはいない」  
20代（13.5%）に比べ50代では約2倍（25.5%）と、世代間ギャップも明らかに
- 生産性が上がる理想のテレワーク頻度は週3～4回

### ビデオ会議などの各種ツールを駆使するための「ITスキル」を保有 76.1%

今回の調査では76.1%の人がビデオ会議やファイル共有などの各種ツールを駆使するための「ITスキル」を身につけていると回答しました。また、71%の人が会社以外の場所で集中力などを維持するための「自己管理スキル」を、80.3%がオンライン上で同僚などとやりとりするための「コミュニケーションスキル」を身につけていると回答しました。

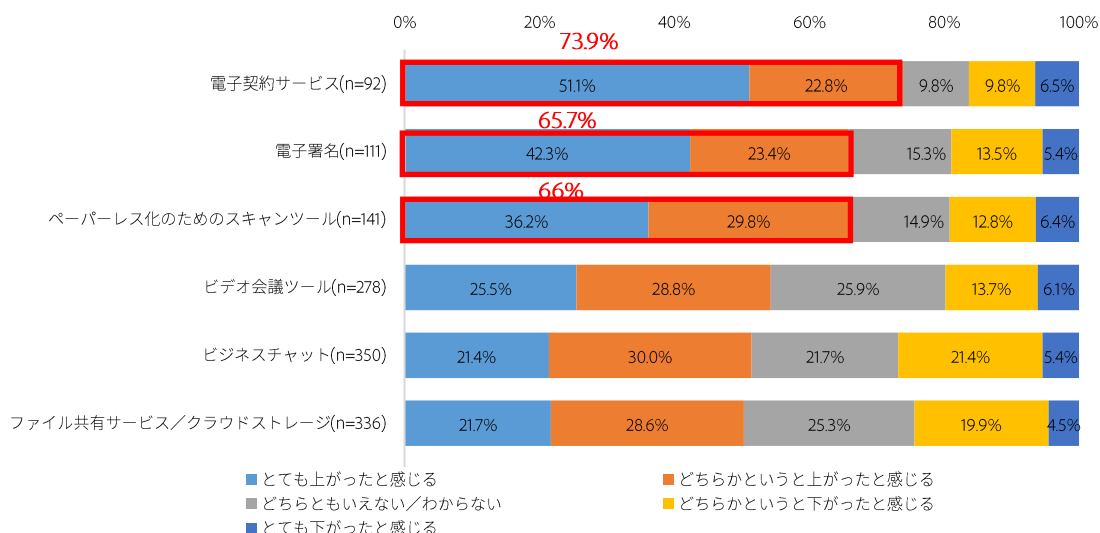
テレワークを効率的に実施するにあたり、あなたは下記のような、テレワークのためのスキルを身につけていると感じますか？(n=800/単一回答方式)



### 生産性向上には電子契約・電子署名・スキャンツールの活用が鍵

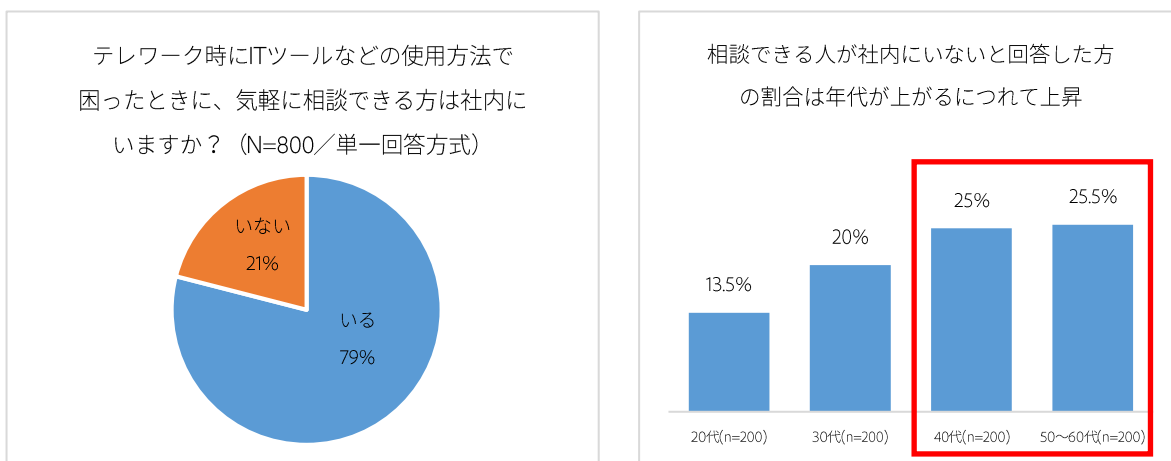
IT ツールを積極的に使ったと回答した人と、生産性向上を実感した人の関係を調べたところ電子契約サービスや電子署名、ペーパーレス化のためのスキャンツール等を積極的に利用している人の人が生産性の向上を実感していることがわかりました。ビデオ会議などのコミュニケーションツールに加えて、稟議や決済など対面での処理を減らすための IT ツールも活用することが生産性の高いテレワークの鍵であると考えられます。

テレワークを導入してあなたの生産性は上がったと感じますか？  
(各種ITツールを積極的に活用した方の生産性向上とのクロス集計結果)



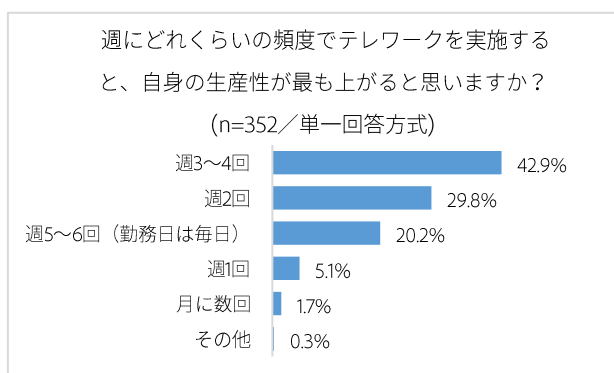
### テレワーク時に IT ツールで困った際、気軽に相談する人が社内にはいない 21%

テレワーク時に IT ツールなどの使い方で困ったときに、気軽に相談できる人が社内にいるかどうかを聞いたところ、21%の人がいないと回答。テレワークを導入する際の一つの課題になっていることがわかります。年代別傾向で見ると、年代が上がるにつれて相談する人がいないと回答する人が増え、40代以降においては約4人に1人（40代：25%、50代：25.5%）が相談できる人がいないと回答しています。ビデオ会議の使い方などの IT スキルを、世代を超えて補完しあうことがチーム全体の生産性向上の鍵になると言えるでしょう。



### 生産性が最も上がるテレワーク頻度は週3~4回

テレワークで生産性が上がったと回答した 352 名に、生産性が最も上がると思うテレワークの頻度を聞いたところ最も多かったのが「週3~4回（42.9%）」で、次いで「週2回（29.8%）」、「週5~6回（勤務日は毎日）（20.2%）」という結果となりました。



アドビ システムズ 株式会社 マーケティング本部 バイスプレジデント 秋田 夏実は次のように述べています。「新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワークを余儀なくされている皆様に、この先が見えない不確実な時期を乗り越えるためのツールを提供し、効率的なテレワークの実現をサポートすべくアドビは全力を尽くしています。一例ですが 2020 年 5 月 31 日まで

Adobe.com の web ベースの PDF サービスを無料で提供、さらに Adobe Sign（電子サインサービス）の 90 日間無料トライアルも実施しています。その他にも様々な支援プログラムをご提供していますので、詳しくはこちらの[サイト](#)を参照ください。少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。」

#### テレワークスキルの向上で生産性向上、チーム内での協力も重要に

アドビは、PDF テクノロジーを基盤にクラウドやモバイル環境でのデジタルドキュメントの閲覧、編集、共有および文書業務とそのプロセスを効率化するクラウドソリューション「Adobe Document Cloud」を提供しています。無料スキャンアプリ「[Adobe Scan](#)」で紙の文書をデジタル化し、印刷情報をデータとして再利用や、場所やデバイスを問わず効率的に複数の関係者でのレビューを実現します。また、電子サイン「Adobe Sign」を活用することで書類の確認や承認作業のために出社することなくテレワークを推進します。テレワークにも効くアドビのクラウドソリューションの詳細は[こちら](#)を参照ください。

#### 「テレワークスキルに関する調査結果」 概要

- 調査方法：インターネット調査
- 実施対象：800 人<20 代 200 名、30 代 200 名、40 代 200 名、50～60 代 200 名>  
(都内に勤務し過去1ヶ月以内にテレワークに初めて取り組んだビジネスパーソン)
- 調査期間：2020 年 3 月 19 日～24 日

#### アドビについて

アドビは、世界を変えるデジタル体験を提供します。アドビ システムズ 株式会社はその日本人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#)に掲載されています。

©2020 Adobe Inc. All rights reserved. Adobe, Adobe Document Cloud, and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Inc. (or one of its subsidiaries) in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

報道関係者お問い合わせ先

アドビプレスデスク アドビ ドキュメントクラウド製品 PR 担当 (MSL 内) :

ハモンド、高田 / [adobe\\_comm@mssljapan.com](mailto:adobe_comm@mssljapan.com)

アドビ システムズ 株式会社 広報担当：坂田 / [pr-jp@adobe.com](mailto:pr-jp@adobe.com)